

外郭団体評価調書【株式会社用】

1. 基本情報

令和5年7月1日 現在

団体名	株式会社 エフエム新津		
所在地	新潟市秋葉区新津東町2丁目5番6号		
代表者(職・氏名) (所属・職)	代表取締役社長 前田 正実	電話番号	0250-23-5000
	(有)新津清掃社 代表取締役社長	ホームページ	www.chat761.com/
市所管課	秋葉区役所 地域総務課	電子メール	mail@chat761.com
基本財産 (基本金)	68,000 千円	設立年月日	平成6年4月7日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	39,000 千円	57.4 %
	日佑電子(株)	2,000 千円	2.9 %
	セコム上信越(株)	2,000 千円	2.9 %
	新潟かがやき農業協同組合	2,000 千円	2.9 %
	(株)諸橋工務店	2,000 千円	2.9 %
	その他(18団体)	21,000 千円	31.0 %
設立目的	<p>旧郵政省の「中央と地方との情報格差是正・地域の活性化促進を目的とした1市町村1波の周波数割当許可」という指針のもと、住民参加による地域に密着した情報を提供することにより、「地域の振興」「公共の福祉増進」「地域の防災」に寄与する。</p> <p>とりわけ、「地域の防災」機能に重点を置き、住民生活の安全性の確保に役立てることを第一の目的とする。</p>		
経営理念 経営方針	<p><経営理念></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域」に根ざし、「地域防災」に役立ち、「地域文化」を創造する。 ・「ラジオメディア」の便利さや楽しさ・快適さを、柔軟な感性で発想する。 ・新潟市域を舞台に、身近なラジオ局として市民や企業とともに多様な企画を実践する。 <p><経営方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公平性 ・健全な組織、健全な財務運営 ・放送法等諸法令の遵守(コンプライアンス) ・地域社会への貢献とそれによる職員の幸せの追求 		

2. 主要事業

事業名①		放送時間の販売事業						
事業概要	(概要) 放送番組及びCMの提供							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 地域内のお店や会社の紹介など身近な情報の発信を通して、市内を中心とした地域の活性化							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
-	-	収入額	千円	予算	35,500	37,000	38,000	38,000
				決算	36,522	38,857	38,134	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
スポットCM本数 (概数)	R5	本	22,700					
	R4	本	22,700	22,700	22,700	概ね計画通り		
	R3	本	22,600	22,700	22,700	季節スポットCMの増加		
	R2	本	22,500	22,600	22,600	季節スポットCMの増加		
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
タイム・放送番組 及びCM本数 (概数)	R5	本	7,400					
	R4	本	7,400	7,400	7,400	概ね計画通り		
	R3	本	7,400	7,400	7,400	概ね計画通り		
	R2	本	7,400	7,400	7,400	概ね計画通り		
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
	R5							
	R4							
	R3							
	R2							
所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価		所管課からは行政情報番組、スポットCM、選挙広報CM放送など委託した。昨年までのコロナ関係のCMが無くなったが、営業努力により目標を達成している。						

2. 主要事業

事業名②	放送番組等の制作事業							
事業概要	(概要) 放送番組及びCM素材・番組表・イベント等の制作							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 市に係るような情報発信を含めた番組やCMを制作し、発信することにより地域に認知してもらう。							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
-	-	収入額	千円	予算	1,500	700	800	700
				決算	639	650	700	-
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
放送番組及びCM素材の制作本数	R5	本	19					
	R4	本	17	19	新規スポンサーや素材変更の微増			
	R3	本	15	17	新規スポンサーや素材変更の微増			
	R2	本	15	15	概ね計画通り			
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
番組表・イベント等の制作本数	R5	本	18					
	R4	本	20	18	イベントに係る機会は増えたが自社制作は計画に届かず			
	R3	本	15	15	概ね計画通り			
	R2	本	20	15	新型コロナウイルス感染症により減少			
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
	R5							
	R4							
	R3							
	R2							
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価	新規スポンサーの獲得や新番組の制作等、営業努力の成果が見られる。イベントについても、持ち直しが見られるため今後に期待。							

2. 主要事業

事業名③	その他事業							
事業概要	(概要) 令和4年度イベントの司会受託他 イベントの音響設備受託							
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 地元を盛り上げるイベントの司会、音響設備受託による地域活性化							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
-	-	収入額	千円	予算	1,500	500	700	800
				決算	480	480	650	-
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
司会・音響設備 受託数 補助金の受託	R5	本	18					
	R4	本	15	14	計画にはわずかに届かなかったが、 少しずつではあるが地元のイベント が復活してきているため昨対で増加			
	R3	本	10	8	新型コロナウイルス感染症により 令和2年度と同等			
	R2	本	20	8	新型コロナウイルス感染症により イベント中止が相次ぎ減少			
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
	R5							
	R4							
	R3							
	R2							
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
	R5							
	R4							
	R3							
	R2							
所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価	新型コロナウイルス感染症により中止となっていたイベントが少しずつ持ち直してきたため、イベントにおける司会業務が増加した。今後に期待したい。							

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

令和5年7月1日 現在 (単位:人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
役員数	6	5	6	6
常勤	0	0	1	1
市派遣				
市職員OB				
プロパー役員			1	1
他団体からの派遣				
非常勤	6	5	5	5
市兼任	1	1	1	1
市職員OB				
他団体兼任	4	4	4	4
その他	1			
職員数	5	6	4	4
常勤	5	5	3	3
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	5	5	3	3
他団体からの派遣				
非常勤	0	1	1	1
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等		1	1	1
見直し等の取組み				

(2) 職員の状況 (市派遣職員を除く。)

令和5年7月1日 現在 (単位:人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
職員の状況	管理職	1	1	2	2
	一般職	4	5	3	3
	合計	5	6	5	5
年齢構成	20代以下	1	1	1	1
	30代	2	1	1	1
	40代	1	1	1	1
	50代		3	2	2
	60代以上	1			
	合計	5	6	5	5

4. 財務の状況

(1) 損益計算書

(決算 単位：千円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
経常損益	営業損益	営業収益(売上高)	38,086	39,055	37,677
		営業費用	35,937	36,418	36,005
		売上原価			
		事業費	21,923	28,321	28,261
		販売費・一般管理費	14,014	8,097	7,744
	営業損益	2,149	2,637	1,672	
	営業外損益	営業外収益	282	9	501
		営業外費用	73	4	
		営業外損益	209	5	501
	経常損益		2,358	2,642	2,173
損特別	特別利益			5	
	特別損失				
	特別損益	0	0	5	
税引前当期損益		2,358	2,642	2,178	
法人税、住民税及び事業税		180	180	180	
当期損益		2,178	2,462	1,998	
前期繰越損益		▲ 27,349	▲ 25,171	▲ 22,708	
当期未処分損益		▲ 25,171	▲ 22,709	▲ 20,710	
処利分益	利益処分額				
	次期繰越損益	▲ 25,171	▲ 22,709	▲ 20,710	

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲)人件費	13,625	15,178	15,564
役員分	460		
職員分	13,165	15,178	15,564

(2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
資産の部			
資産の部合計	53,368	52,802	54,242
流動資産	48,536	43,475	46,143
現金預金	40,196	35,677	39,034
受取手形			
未収金	8,280	7,843	7,151
有価証券			
その他流動資産	60	▲ 45	▲ 42
固定資産	4,832	9,327	8,099
有形固定資産	4,105	8,461	6,993
無形固定資産	546	546	546
その他投資等	181	320	560
負債の部			
負債の部合計	14,539	11,511	10,952
流動負債	4,791	2,771	3,220
短期借入金	1,760		
その他流動負債	3,031	2,771	3,220
固定負債	9,748	8,740	7,732
長期借入金	9,748	8,740	7,732
その他固定負債			
純資産の部			
純資産の部合計	38,829	41,291	43,290
資本金	68,000	68,000	68,000
法定準備金	▲ 4,000	▲ 4,000	▲ 4,000
剰余金	▲ 25,171	▲ 22,709	▲ 20,710
うち当期未処分損益	▲ 25,171	▲ 22,709	▲ 20,710
(当期損益)	2,178	2,462	1,998
負債の部及び純資産の部合計	53,368	52,802	54,242

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市財政支出等の合計	21,557	20,993	20,889
補助金			
事業費補助金			
運営費補助金			
設備投資に係る補助金			
負担金			
交付金			
委託料	21,557	20,993	20,889
指定管理料（公募）			
指定管理料（非公募）			
業務委託（随意契約）	21,557	20,993	20,889
業務委託（その他）			
貸付金(期中借入額)			
出資・出捐金(追加額)			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免、建物の無償貸与等)			

(市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

行政情報告知を目的として、行政情報番組、緊急告知ラジオ試験放送などを制作し放送しており、広報と一体となった行政情報、緊急性の高い災害等情報は有意義と思われる。金額は概ね昨年同等。

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

（1）財務の健全性

指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常損益		2,358 千円	2,642 千円	2,173 千円
当期損益		2,178 千円	2,462 千円	1,998 千円
自己資本比率	純資産	72.8 %	78.2 %	79.8 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	1013.1 %	1568.9 %	1433.0 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	9.9 %	18.6 %	15.9 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	21.6 %	16.6 %	14.3 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）	純資産 －資本金（基本金）	▲ 25,171 千円	▲ 22,709 千円	▲ 20,710 千円
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	有	① 運用方針を明文化し、それに従って運用している。 ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。 ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。 ④ 元本割れのリスクはない。	
		無		

（2）団体の自立性

指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	56.2 %	53.7 %	54.7 %
	経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

（3）経営の効率性

指標		令和2年度	令和3年度	令和4年度
総資本経常利益率	経常利益	4.4 %	5.0 %	4.0 %
	資産の部合計			
売上高経常利益率	経常利益	6.2 %	6.8 %	5.8 %
	売上高			
総資本回転率	売上高	0.7	0.7	0.7
	資産の部合計			
職員1人当たり 売上高	売上高	7,617 千円	6,509 千円	9,419 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	経常利益	472 千円	440 千円	543 千円
	職員数			
売上高販管費比率	販売費及び一般管理費	36.8 %	20.7 %	20.6 %
	売上高			
職員1人当たり 管理費	販売費及び一般管理費	2,803 千円	1,619 千円	2,581 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	35.8 %	38.9 %	41.3 %
	売上高			
役員人件費比率	役員人件費	3.4 %	0.0 %	0.0 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
● 有	計画名称〔株式会社エフエム新津 中期経営計画〕 計画期間 令和5年度～ 令和7年度
概要・数値目標	
<企業理念>①企業の存在意義 ②経営姿勢 ③行動規範 <計画の実行>①地域密着 ②企業理念に基づいた行動 ③関係者全てに喜ばれることの実践 ④本業の放送に注力 ⑤知名度アップ ⑥地域発展への貢献 ⑦新番組等の企画 ⑧全員経営・全員営業 ⑨価値の向上 ⑩社内外の幸せの追及 ⑪情報収集とタイムリーな発信 ⑫ボランティアさんによる情報収集と発信 <収支の改善>令和5年度の数値目標 ①昨年度以上のスポットCM、協賛の獲得	
	無〔 〕

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
有	就任時期 年度～ 依頼先職種〔 〕	● 有	依頼時期 平成6年度～ 依頼先職種〔公認会計士〕
● 無			無

③ 事務処理改善の取組み	
● 有	取組内容 27年度～ 〔 会計ソフト・顧客管理ソフト導入による計数管理・顧客管理の徹底。(平成27年度に導入済) 〕
	無

④ 人材育成の取組み	
● 有	取組内容 22年度～ 〔 随時研修を実施 〕
	無

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況			
● 有	策定時期 平成18年度～ 規定名称 〔(株)エフエム新津情報公開規程〕	団体ホームページ掲載	● 定款等 平成19年度～
	無〔 未整備理由 〕		● 事業内容 平成17年度～
			● 役員名簿 平成17年度～
			● 役員報酬 平成18年度～
			● 事業報告 平成17年度～
			● 損益計算書 平成17年度～
			● 貸借対照表 平成17年度～
			● 事業計画書 平成17年度～
			● 予算概要 平成17年度～

改善対応区分
 A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
 B:改善の取組の効果が始まっている
 C:改善の取組に着手
 D:改善の取組に向けて検討中
 E:今は実施せず今後の課題とする

6. 経営改善状況（個別の取組み）

（1）前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項		緊急告知ラジオを導入している南区と阿賀野市は、秋葉区に次ぐ商圈である。情報収集、取材などを通じて出稿につなげられたい。					
改善のために取り組んだ内容		昨年から引き続き、秋葉区を中心に深い関係づくりを優先する。					
取組みによる成果		秋葉区内での新規スポンサーの獲得 阿賀野市のボランティアによる新コーナー開始					
改善・対応区分		A	B	C	D	● E	
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	南区へのアプローチ	計画	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	
		実績	区役所・商工会議所のコーナー継続	区役所のコーナー継続			
	進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 区役所のコーナーの継続					
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 しばらくは秋葉区を中心に関係づくりを行うが、既存のスポンサーには定期的にアプローチを行う。					
	課題への対応	【今後の課題への対応】 秋葉区内での関係づくりが形になった後に対応する。					
	五泉市へのアプローチ	計画	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集	
		実績	例年通りの受注有	例年通りの受注有			
		進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 例年通りのスポットCMなどの受注 (阿賀野市については、阿賀野市のボランティアによるコーナー開始)				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 しばらくは秋葉区を中心に関係づくりを行うが、既存のスポンサーには定期的にアプローチを行う。				
課題への対応		【今後の課題への対応】 秋葉区内での関係づくりが形になった後に対応する。					

改善指示事項		単発の投稿は増加しているが、レギュラー スポンサーの減少が収益減の一要因となっている。企画提案型の営業活動に軸足を置いて安定した顧客を獲得する。(番組の見直し)				
改善のために取り組んだ内容		過去の スポンサーの掘り起こしや、番組ゲストへのアプローチ				
取り組みによる成果		空いている時間の時報CMのレギュラー スポンサー獲得 既存番組への新規 スポンサー獲得				
改善・対応区分		A	B	● C	D	E
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	計画	既存番組優先	既存番組優先	既存番組優先	既存番組優先	
	実績	新コーナー1つ開始	新番組1つ 新コーナー1つ開始			
	進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 新番組1つと新コーナー1つ開始				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 引き続き既存番組の魅力を伝え、スポンサー獲得することを優先する。				
	課題への対応	【今後の課題への対応】 引き続き既存番組の魅力を伝え、スポンサー獲得することを優先する。				
	計画	新規スポンサー付け	新規スポンサー付け	新規スポンサー付け	新規スポンサー付け	
	実績	新規スポンサー1社・新規時報CM2社	新規スポンサー1社・新規時報CM1社			
	進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 既存番組への新規スポンサー1社 空いていた8時時報の新規スポンサー獲得				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 提供の無い番組へのスポンサー付け 既存スポンサーの継続依頼				
課題への対応	【今後の課題への対応】 引き続き番組ゲストへのアプローチや、スポンサー付けキャンペーンなどの企画での獲得を目指す。					

改善指示事項		中短期計画（3か年）に基づく実行						
改善のために取り組んだ内容		令和4年度は中期計画を立てておらず、令和元年度からの中期計画に従い行動した。						
取り組みによる成果		約200万円の黒字を計上						
改善・対応区分		A	B	● C	D	E		
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	収益向上計画	計画	実施・評価	実施・評価	実施・評価	実施・評価		
		実績	実施・評価	実施・評価				
		進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 同業社・異業社との交流や研修などによる社員全員経営の意識向上 経費の見直し					
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 放送の質・技術の向上 番組内容の見直し 支出の見直し					
		課題への対応	【今後の課題への対応】 災害時対応研修実施・継続 スポンサーの付く番組作り 収支の改善					
	中長期計画	計画	実施・評価	実施・評価	実施・評価	実施・評価		
		実績	実施	実施				
			進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 前年度に続きスポンサー付けキャンペーンなどにより新規スポンサーを獲得することができたが黒字額は減少。				
			今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 仕事内容の効率化により人件費の増加幅を抑える。 設備の老朽化による入れ替えの際に係る費用、性能の見直し				
		課題への対応	【今後の課題への対応】 随時経費の見直しやスポンサーの獲得・維持					

改善指示事項		BCP（事業継続計画書）の実行				
改善に向けた取り組み	評価指標	改善のために取り組んだ内容	災害時の対応研修の実施 社内で感染症が流行した際の対応の確認			
		取り組みによる成果	災害や内部での感染拡大は実際に起こっていないが、起きた時の為の社員の心構えの上昇。			
	改善・対応区分	A	B	● C	D	E
	実施事項	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	BCP作成	計画	実施・評価	実施・評価	実施・評価	
		実績	実施	実施		
進捗状況		【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 計画に基づき達成している。				
今後の課題		【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 引き続きの実行				
課題への対応		【今後の課題への対応】 引き続きの実行				

改善指示事項		同業他社と比較しての利点を、SNSなどを活用して積極的に情報発信し、営業活動につなげる必要がある。			
改善のために取り組んだ内容		積極的なFacebookの活用、ホームページの更新			
取り組みによる成果		実感できるほどにプレゼント企画や番組に対するメッセージが増加した。			
改善・対応区分		A	B	C ●	D E
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	計画	既存番組のスポンサー付け	既存番組のスポンサー付け	既存番組のスポンサー付け	既存番組のスポンサー付け
	実績	実施	実施		
	進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 社員全員でのFacebookの活用、更新頻度の増加			
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 SNSを通じての関係構築			
	課題への対応	【今後の課題への対応】 幅広い年代へ対応するためにFacebookの活用継続とInstagramを開始予定			
	計画	SNS・HP・ステッカー掲示・サイマルラジオによる情報発信	SNS・HP・ステッカー掲示・サイマルラジオによる情報発信	SNS・HP・ステッカー掲示・サイマルラジオによる情報発信	SNS・HP・ステッカー掲示・サイマルラジオによる情報発信
	実績	実施	実施		
	進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 Facebook・HP・観覧スペースにスポンサー名の掲示関係づくりのための定期的な挨拶文郵送やメール配信 地元商店街のアーケードでの放送開始			
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 引き続きの聴いてもらうための仕組みづくり			
課題への対応	【今後の課題への対応】 地元商店街などの店舗入口にステッカーを貼ってもらう依頼や、店内BGMとしてエフエム新津を流してもらう依頼 ボランティア情報提供パートナーへの定期挨拶メールやスポンサーなど地元事業所への定期挨拶文郵送による関係づくりを続ける。				

改善指示事項		他地域のFM局の成功事例について、情報収集、分析し、経営に活用していくことが必要である。					
改善に向けた取り組み 評価指標	改善のために取り組んだ内容	同業種・異業種間での情報収集や交流					
	取り組みによる成果	機器入れ替えの際、他社の放送設備などを参考に必要最低限の支出で抑えている。					
	改善・対応区分	A	●	B	C	D	E
	実施事項	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	他地域のコミュニティ放送局や異業種との交流	計画	延べ30回	延べ40回	延べ60回	延べ60回	
		実績		年間127回	7月1日現在36回		
進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 定期的な情報収集や研修への参加						
今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 得た情報などを実際に経営に反映させる。						
課題への対応	【今後の課題への対応】 情報の精査・分析						

改善指示事項		リスナーの獲得などを目的にSNSを活用しているものの、活用効果を測定する成果指標を設定するなど、分析や改善ができる仕組みが必要である。					
改善に向けた取り組み 評価指標	改善のために取り組んだ内容	Facebookを社員全員で活用し、更新頻度も増加					
	取り組みによる成果	フォロワーの増加により、プレゼント企画への応募や番組へのメッセージが実感できるほどには増加している。					
	改善・対応区分	A	B	C	●	D	E
	実施事項	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	Facebookページのフォロワー数	計画	600人	700人	750人	900人	
		実績		670人	7月1日現在681人		
進捗状況	【令和4年度までの達成状況及び今後の見込み】 フォロワー数は微増に留まっている。						
今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 閲覧者がどんな内容に興味を持っているかなど、分析をして放送内容に反映させる。 計画達成に向けた更なる取り組み						
課題への対応	【今後の課題への対応】 引き続きの頻繁な更新と定期的な分析 フォロワー増加の為の仕組みづくり						

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	<p>予算管理においては月次で予算を組み、毎月管理している。 新規スポンサーやスポットCMなどの増加により約200万円の黒字を計上できた。 地元イベントが徐々に復活し、参加することにより売り上げにつながる関係づくりも行っている。</p>
団体の自立性	<p>広域放送局とは違う、コミュニティ放送局としての役割を再認識し、地元の発展に貢献したい。</p>
経営の効率性・適正性	<p>現在は代表取締役をはじめ、役員も積極的に営業などに取り組み、毎週社員と顔を合わせ現場の意見を吸い上げるにより開けた社内環境作りに取り組んでいる。 引き続き経費の見直しを進め、費用対効果の高い効率の良い業務を継続していきたい。</p>
その他	<p>第一の使命である災害・防災情報の発信のため、日ごろから多くの方に放送を聴いていただく仕組み作りに尽力する。</p>

【新たに改善を要する事項】 ※「6. 経営改善状況」に記載のもの以外で改善を要する事項を記載

今後改善を要する事項					
評価指標	実施事項	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	計画				
	実績				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】			
	課題への対応	【今後の課題への対応】			

【団体による総括的な評価】

<p>代表取締役をはじめ役員も積極的に営業に参加し、毎週社内ミーティングで社員と顔を合わせ現場の意見を吸い上げるにより開けた社内環境づくりに取り組んでいる。 また、令和4年度からは本格的に研修資料などを活用し社員の経営意識の向上などにも力を入れているので、更なる売り上げの増加につながるよう努力を続けていきたい。</p>
--

【所管課による評価】

<p>6期連続の黒字を計上し、増益となり、その間に累損も3分の2に減らした。設備投資協賛依頼などの営業活動や経費の削減などの成果と思われる。また、情報提供パートナーやボランティアリポーター等を活用し、より地域に密着した情報発信を行っている。さらに、昨年度企画した子供を対象とした特別番組「未来に届け！ラジオカプセル」は大変好評であり、番組の価値の創造に努めた点は大いに評価すべき点である。しかし、市への財政的依存度が依然として高いため、秋葉区における地域コミュニティ放送局として組織力、営業力、地域力の高い組織となるよう引き続き支援していく。また、地域コミュニティ放送の強みを生かし、地元に必要なとされる放送局を目指し、より一層、緊密に連携し、必要に応じて助言を行っていく。</p>

【総合評価】

概ね良好	● 改善の余地がある	改善が必要	抜本的な対応が必要
総合的な所見			
<p>他地域のFM局の成功事例について、機器入替えの際に他社の放送設備等を参考に必要最低限の支出に抑えているというハード面の取組みがなされていることは評価できる。</p> <p>SNSなどを活用した情報発信では、若年層を含めた幅広い世代へのアプローチを考えた場合、よりアクティブユーザー数が多い、Instagram、X（旧Twitter）、YouTubeを活用する方が効果的であり、活用の検討が望まれる。</p>			
改善指示事項			
<p>ハード面のみならず、ソフト面においても情報収集・分析し、番組制作・スポンサー集め等に生かすべきである。</p> <p>従来営業努力の継続に加えてイベント開催が持ち直すことで制作事業増加が見込められると思われるため、経営環境の変化を考慮し、積極的に制作事業を行うべきである。</p>			

【総合評価を受けての団体としての決意】

Facebookに続きInstagramも開設して情報を発信しているが、現在直接的なスポンサーの獲得には繋がっていないので閲覧者の分析を社内で進め、営業に繋がれるよう取り組んでいきたい。

現在の社内体制では制作事業に注力することは厳しい状況だが、業務の更なる効率化も併せて行い、イベント参加や企画制作などに取り組みたい。

令和6年2月27日 株式会社エフエム新津 代表取締役 前田正実

【総合評価における改善指示事項への対応方針】

改善指示事項		ハード面のみならず、ソフト面においても情報収集・分析し、番組制作・スポンサー集め等に生かすべきである。				
評価指標	実施事項	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	同業種・異業種との交流による情報収集（その他SNS等からの分析）	計画	150回	150回	150回	150回
		実績				
	今後の課題	<p>【取り組み状況を踏まえた今後の課題】</p> <p>ソフト面においてはまだまだ情報収集・分析が足りていないと実感しており、ハード面と同じように他社の成功事例などを参考・分析して、得た情報を収入に繋げていく取り組みを行う。</p>				
課題への対応	<p>【今後の課題への対応】</p> <p>経営陣だけではなく社員も全員経営の意識を持ち、交流・情報収集の場に積極的に参加する。</p>					

改善指示事項		従来営業努力の継続に加えてイベント開催が持ち直すことで制作事業増加が見込められると思われるため、経営環境の変化を考慮し、積極的に制作事業を行うべきである。				
評価指標	実施事項	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	イベントへの参加・企画（司会業等含む）	計画	-	15回	18回	20回
		実績				
	今後の課題	<p>【取り組み状況を踏まえた今後の課題】</p> <p>令和5年度からは地元のイベントも徐々に復活し、関わる頻度もコロナ禍に比べると増えてきているが、なくなってしまったイベントも少なからず出てきているので、地域活性化も兼ねて、既存のイベントへの積極的な参加と、継続のための定期的なアクションが必要と感じる。</p>				
課題への対応	<p>【今後の課題への対応】</p> <p>令和6年度は開局30周年を迎え自社イベントを開催する予定にしているため、これを期にイベント参加のほか、企画も少しずつ行っていく。</p>					